

# 脚本家 奥寺佐渡子の世界へ



(c) あさみあやこ

ファンタジーからホラー  
サスペンスからラブストーリーまで  
様々なジャンルの垣根を越境し  
人間のドラマを追求する  
脚本家・奥寺佐渡子。

相米慎二の映画から細田守のアニメーションまで  
彼女の手によって組み立てられる世界の魅力に、  
心を奪われたひと多いはず。

ときに繊細に  
ときに力強く描き出される人間たちー

ときには悲しくも切なくもあり  
ときには楽しく温まるような多様な世界ー。

この冬、  
鹿児島大学と鹿児島コミュニティシネマでは  
奥寺佐渡子さんをお招きし、  
彼女の脚本の世界をめぐる連続トークイベントを開催します。

鹿児島の学生の皆さん！ 地域の皆さん！  
脚本とは何か、脚本家の仕事とはどのようなものか、  
日本映画の第一線で活躍する奥寺佐渡子さんと語り合い、  
一緒に考えてみませんか？

第1日目 **12/13** (土) 15:00~17:00 入場無料・登録不要 (どなたでもご来場ください)

郡元キャンパス 法文学部 1号館 2階 201 講義室

トークセッション@鹿児島大学  
奥寺佐渡子 × 中路武士  
(鹿児島大学准教授)

これまでの作品を取り上げながら、映画や  
アニメの脚本の創作方法、描き出される世  
界の魅力について語り合います。



【問】鹿児島大学 法文学部人文学科 中路武士研究室  
TEL / FAX: 099-285-8909 nakaji@leh.kagoshima-u.ac.jp

## Profile 奥寺佐渡子 (おくでらさとこ)

1966年岩手県生まれ。東海大学文学部広報学科卒業後、  
石油会社で働きながら、深夜番組の台本などを手がける。  
93年、相米慎二監督・伊地智啓製作の『お引越し』で  
デビュー。95年、平山秀幸監督『学校の怪談』で日本アカ  
デミー賞脚本賞、12年、成島出監督『八日目の蟬』で同  
最優秀脚本賞を受賞。細田守監督のアニメーション映画  
『時をかける少女』、『サマーウォーズ』、『おおかみこども  
の雨と雪』で東京アニメアワード脚本賞受賞。

## 《主な作品》

実写映画

お引越し (1993)

八日目の蟬 (2011)

バンクーバーの朝日  
(公開直前!)

アニメーション映画

時をかける少女 (2006)

サマーウォーズ (2009)

おおかみこどもの雨と雪  
(2012)

テレビドラマ

Nのために (MBCにて放映中!)

※次回は来春、成島出監督を予定しています。

【主催】鹿児島大学法文学部人文学科 中路武士研究室 【共催】(社)鹿児島コミュニティシネマ